

単元名 安全なくらしを守る人びとの仕事

配当時間 16時間

- 単元の目標 (1) 地域の人々の安全を守るために消防署や警察署で働く人々や関係諸機関が、地域の人々と協力して災害の防止に努めていることや相互に連携して緊急に対処する体制をとっていることを理解し、見学したり、統計資料などを活用したりしてまとめることができる。
- (2) 施設・設備の配置、緊急時への備えや対応に着目して、地域の人々の安全を守る消防署、警察署などの関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の思いを考え、表現することができる。
- (3) 火事や交通事故などに備えて、地域の安全は互いに協力したり、共に助け合ったりして守ることで、自分も地域社会の一員として自分の安全は自分で守ることが大切であるという自覚をもとうとする。

標準的な展開例

03030202_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 市（町）内で起こった火災や事故の写真を見たり、通学路で危険な場所について話し合ったりして、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市（町）内や学校の近くで起きた火事や事故について知っていることを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・この間、近所でサイレンが鳴って怖いと思ったよ ・交通事故があったとき、警察の人が仕事をしていたよ ○家の近くや登下校で危険を感じたことをカードにかき、危険な場所について話し合い、学習問題をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・信号がない道があつて、いつ横断したらいいかわからない ・スマートフォンを見ながら自転車に乗っている人がいて、ぶつかりそうになった ・消火栓の上に自動車が止められていて、消火ができなくて困ったという話を聞いたことがある <p>★わたしたちの安全なくらしは、どのように守られているのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習問題について予想し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・火事や事故、事件が起きたらすぐに出動できるようにいつも準備している ○予想を基にして、学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べる内容…安全を守る施設や設備 ・調べる方法…消防署・警察署の見学、副読本、インターネット ・表現の仕方…安全マップ <p>3 火災が発生した緊急時の対処や災害に対する工夫について予想し、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の市（町）の火事を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・火事の原因 ・火事の件数 ○火災や災害に素早く対応するための消防署の活動について予想し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・火を消すためにたくさん練習している ・けが人を助ける方法を考えている ○予想を基にして、消防署を見学する計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・見て調べることで、聞いて調べることで ・聞き取り調査の仕方やまとめ方 ・持ち物や役割分担、注意事項の確認 <p>4～5 消防署の見学を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消防署の様子を見学する。 ○消防署の施設や働く人々の工夫や努力について、聞き取り調査をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・消防車・救急車の点検、種類、働き ・消防設備の備品、仮眠室 ・隊員の訓練内容（救助訓練、防火訓練） ・隊員の一日の様子 ・防火の呼びかけ（火災予防運動） <p>6 火事が起きた時に消防署に連絡を取る方法と内容について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○火事が起きた時のシミュレーションをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・119番がどこにつながっていくのか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最近のニュースで見聞きした火災や事故、事件などを発表させてもよい。 ・身の回りにはどのような危険があるのか、普段の生活から想起させる。 ・地域の安全を守るために、どんな人がどのような仕事や取組をしているのかを調べていく活動へとつなげていく。 ・市町や校区内の防火対策を学んだり、地域の事故や事件を防ぐために必要なことを考えたりしていくことで、最終的には、地域の「安全マップ」を作り活用していくということを押さえる。 <p>【評】カードにかく活動や話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、図書館やインターネットで調べられるようにする。 ・火災などの災害を防ぐためにどのようなことに取り組んでいるのか考えさせる。 ・見学時に特に見聞きたいことや疑問に思うことを質問事項として考えさせておく。 ・見学して分かったことは、教科書P.95「見学カード」のようにまとめることを伝え、見通しをもって見学に臨むように助言する。 ・見学のマナーや注意することを確認しておく ・体力づくりのための運動器具があることなどにも注目させたい。 ・大規模災害（地震）の時にも人命を守るために出動することを話していただけるように事前に確認しておくことよい。 <p>【評】消防署の施設や署内外での見学、調査した内容を記録する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災やけが人を発見した時、消防署に連絡する方法として、119番通報があることを思

- 通信指令室のコンピューターからの連絡経路を知る。
 - 関係諸機関との関わりを知り、その仕事について調べる
 - ・警察署・電力会社・ガス会社
 - ・水道局・病院・消防団
- 7～9 学校の中や地域にある身近な消防設備や、地域の人がどのような備えをしているのかを調べる。
- 校内の消防設備を調べる。

- 調べたことを校内白地図にまとめる。

- 地図を基に話し合い、学校における消防設備についてまとめる。
 - ・学校のいろいろな所に火災報知設備や消火器が置いてある
 - ・火を使う教室にはすぐそばに消火栓がある
- 校区でも、同様に防火設備・消火施設の位置を確認し、校区白地図にまとめ、気付いたことや考えたことを発表し合う。
 - ・人が多く住んでいる所に消防署がある
 - ・消火栓が道路に沿って設置されている

- 地域の安全を守る消防団の人の活動について調べる。

- 10 火災防止について自分にできることを考える。
- 火災防止や防災のために自分で実行できることについて考え、話し合う。
 - ・火の始末をしっかりする
 - ・火遊びをしない
 - ・地域の防災訓練に参加する
 - ・避難する通路や避難場所を確認する
 - ・防災袋を準備しておく

- 11 事故や事件が発生した緊急時の対処について予想し、学習計画を立てる。
- 自分の市（町）の交通事故や事件の発生件数を調べる。
 - ・高齢者の事故が多い
 - ・交通事故がだんだん減ってきている
 - 事件や事故に素早く対応するための警察署の活動について予想し、話し合う。
 - ・消防署と同じように、通報したらすぐに出動できるようにしている
 - ・パトロールをしていて、すぐに現場に向かえるようにしている
 - 予想を基にして、警察署の人の仕事を調べる計画を立てる。
 - ・見て調べること、聞いて調べること
 - ・聞き取り調査の仕方やまとめ方
 - ・持ち物や役割分担、注意事項の確認

- 12 警察署の人の仕事を調べる。
- 110番の連絡の仕組みについて知る。
 - ・110番通報を受けてからの対応
 - ・警察署以外の機関との連携

い出させる。

- ・通報に必要な情報について考えさせ、教科書P.98「119番へ電話したときにたずねられること」で役割演技をして確認する。
- ・消防署単独でなく、通信指令室を通じて、多くの関係諸機関に連絡していることに気付くようにさせる。

- ・校内の消防設備の配置について調べ、学校が火災から安全を守るために整備していることを理解させる。
- ・校内の消防設備調べに当たって、事前に校内に時間や特別教室の解錠などを伝えておく。
- ・校内の白地図を配布し、消火器、消火栓、火災報知設備、非常ベル、防火扉などの記入方法を確認しておく。
- ・グループごとに拡大した校内白地図に書き込ませる。
- ・校内白地図を基に気付いたことを出させ、身近な所にも数多くの消防設備があることを理解させる。

- ・消防署に問い合わせると、地域ごとの消火栓や避難所などが記載されている地図のコピーなどが入手できる。
 - ・消防署や消防団などの数や位置を確認し、災害から地域を守る体制を整えていることをつかませる。
 - ・人が多く住んでいる場所に消防機関が分布していることに気付かせる。
- 【評】校内白地図や校区白地図にまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・消防団で働く人の話を聞く機会を設けるとよい。
 - ・火事が起きたときの仕事だけでなく、地域の安全を守るために普段どのような仕事をしているのかについても触れさせたい。

- ・火事の原因を想起させ、火災防止で自分にできることを考えさせる。
 - ・今後、地震などの災害が起こる可能性が高いことも踏まえ、防災に対して意識を高める必要があることに気付かせる。
- 【評】防災のために自分でできることを話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

- ・市町や地域のデータをグラフに示したり、副読本を活用したりする。

- ・事故や事件が起きた時や防ぐためにどのようなことに取り組んでいるのかを考えさせる。

- ・見学に行く場合は、特に見聞きたいことや疑問に思うことを質問事項として考えさせておく。
- ・見学のマナーや注意することを確認しておく

- ・人々の安全を守るために、警察署の働きがあることを捉えさせる。
- ・見学以外に、ゲストティーチャーとして警察官や交番に勤めている警察署の人を招き、話を聞くという方法も考えられる。
- ・既習の消防署との連携についても押さえておく。
- ・119番通報の時と同じところと違うところ

<p>○交通事故や事件を防ぐ取組について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガードレールやカーブミラー，電灯等の設置 ・交通安全指導（交通安全教室） <p>13 事故や事件防止のための市（町）での取組や地域の人々の取組について調べる。</p> <p>○警察署の人の他に，地域の安全を守っている人や地域の取組について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通指導員 ・交通安全ボランティアの人たち ・交通少年団の活動 ・こども１１０番の家 ・青色防犯パトロール ・防犯カメラの設置 <p>14～15 火事を起こさない生活の仕方や事故を起こしたり事件に巻き込まれたりしない行動について考え，安全マップを作る。</p> <p>○「安全マップ」にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火栓のある場所 ・避難場所 ・交通事故や事件が起こりやすい場所 ・交差点，踏切，交通量の多い道路 ・安全設備（地下道，歩道橋，スクールゾーン，押しボタン信号） ・交番 ・こども１１０番の家 <p>○危険な場所を予測し，地図に説明を詳しく示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所 <p>16 単元のまとめをし，学習の振り返りをする。</p> <p>○作成した「安全マップ」を基に，安全なくらしを守るために自分たちにできることや協力できることは何かについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールを守って交通事故を防ぎたい ・安全マップを他の学年の人に見てもらって，みんなに気を付けてもらいたい 	<p>を比べて考えさせるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路標識は，交通事故予防のために一人一人に安全を意識させ，法やきまりを守ることの大切さを理解させるものであることを押さえる。 <p>【評】警察署や関係機関の働きを調べる活動を通して，「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こども１１０番の家」が校区のどこにあるのかを調べさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・第１～２時にかいたカードを貼らせてもよい ・「こども１１０番の家」や災害時の避難場所になっている所についても場所を確認させる ・狭い路地を自転車で通り抜ける際の，大人から見た危険な場所なども入れさせるとよい。 ・登下校の方面が同じ児童でグループを作り，校区地図の分担をしてもよい。 ・既習の地図記号を利用させる。 ・危険箇所の理由ごとにマークを考え，表示のきまりを自分で決めて地図内に示すといった工夫をさせるとよい。 <p>【評】「安全マップ」を作成する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安全マップ」を他の学年や地域の人に発表する機会をもたせてもよい。 ・地域の一員としてできることを考えさせ，これからの生活に生かしていけるようにする。 <p>【評】自分たちにできることを話し合う活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
--	---

【 備 考 】

消防署の仕事と警察署の仕事は，いずれも取り上げるが，どちらかに時間をかけて指導すればよい。本単元の展開例は消防署の仕事に重点を置いている。